



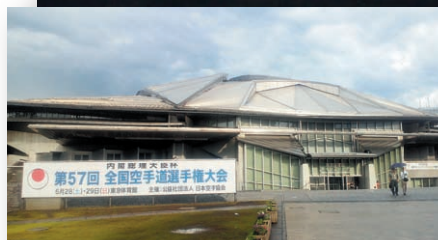
公益社団法人

日本空手協会

JKA ニュース

2014 夏号 通巻No.45

〒112-0004 東京都文京区後楽 2-23-15 TEL: 03-5800-3091 FAX: 03-5800-3100 ホームページ: <http://www.jka.or.jp/>



内閣総理大臣杯 第57回全国空手道選手権大会

- ◆日時 / 2014年6月28日・29日
- ◆会場 / 東京体育館
- ◆後援 / 文部科学省、東京都



形は栗原一晃V6!! 中岡美希V3!!



飯村吏毅哉、傷だらけの王者奪取！



伝説に挑んだ根本敬介

注目は、3連覇を狙う根本敬介(指定)。準々決勝で拓殖大3年の芳賀裕



↑【準々決勝】根本敬介(指定/左)が引き込みながらの上段突きで技有りを奪い、拓殖大3年の芳賀裕介(東京)に判定勝ち。



→【準々決勝】上田大介(指定/左)が試合開始からわずか二度の攻防、飛び込み上段突きと引き込みながらの上段突きで技有りを奪い、忠鉢考治(指定)に合わせ一本勝ち。



↑【準々決勝】飯村吏毅哉(指定/左)が開始早々の中段蹴りと中段突きで二つの技有りを奪い、石田一樹(福岡)に合わせ一本勝ち。



↑【準々決勝】菅原元太郎(茨城)の強打により柚木健彰(指定/左)が反則勝ち。

介(東京)を退けると、準決勝では上田大介(指定)と対戦。
上田は、昨年2位の忠鉢考治(指定)を準々決勝で下している。
根本と上田の準決勝は、序盤、右前構えにスイッチした根本が、前に出た上田を引き込むようにして右上段突き

を極め、技有り。上田はその後、攻めあぐね、そのまま試合終了。根本が判定勝利を収めた。

一方のブロックから勝ち上がってきたのは、飯村吏毅哉(指定)。

準々決勝では、4回戦で猪越悠介(指定)を下した石田一樹(福岡)との対戦。

試合開始の合図とともに繰り出した中段蹴りで技有りを先制。さらに中段突きで、二つ目の技有りを奪取した。

次の準決勝では、柚木健彰(指定)が準々決勝で菅原元太郎(茨城)による強打で反則勝ちとなったため、不戦勝となり、根本敬介(指定)の待つ決勝へと辿りついた。



→【準決勝】根本敬介(指定)／左が引き込みながらの上段突きで技有りを先制すると、その後は上田大介(指定)につける隙を与えず、判定勝利。

3連覇か初優勝か!?

5分間の三本勝負、二本先取りの加算方式で行われた決勝戦。

試合開始から見合う展開。しかし、3連覇を掴むべく、根本がじりじりと右前構えの飯村をコーナーに追い込んでいく。そして、一瞬の隙について中段突きを極め、先手を奪う。

だが、飯村も負けてはいない。前足(右足)で根本の前足を牽制しながら、左中段回し蹴り。これが技有りとなつて、星を五分に戻す。

「(根本は)スピードで勝負しても対応してくる。いかにタイミングに変化をもたせるか」と考えていた飯村は、前に出続ける根本の圧力に押し込まれながらも、先をとった左上段突きで二つ目の技有りを奪う。これで、まずは飯村が「一本」となった。



↑【決勝】中段突き・技有りで先制した根本敬介(指定)／左)。その後、飯村の左上段突きで逆転され、最後までプレッシャーをかけ続けるも、惜しくも及ばなかった。「言い訳はしない。技の速さ、シャープさで飯村に分があった。もう少し若手の壁になってあげたかった……」と「漢」根本。

その後も前に出る根本に対し、飯村が左上段突きを極め、三つ目の技有りを奪う。

後がなくなった根本は、さらにプレッシャーを強め、たまたま飯村も二度目の場外へ。これ以上は場外に出られない状況に追い込まれるが、終盤になって中段蹴りで前に出た根本に対し、飯村が右の上段突きを極め、四つ目の

技有り。二本先取した飯村が初優勝に輝いた。

試合後、飯村は「大会前から肩と足を痛めており、さらに4回戦で軽い肉離れを起こしていた。言い訳にはならないが、初戦から突きがよくなかった。蹴り中心に攻めた。決勝では蹴りだけでは難しいので、突き主体に切り替えた」と語った。



↑【決勝】詰めてくる根本敬介(指定)に対し、一瞬の隙を逃さず攻撃を仕掛けた飯村吏毅哉(指定)／右。「強さ」が求められるこのタイトルは、非常に重みがある。世界大会(10月)は、全国大会の覇者としてプライドを持って臨みたい」

廣瀬まり、初優勝に輝く！



↑【決勝】廣瀬まり(本部推薦／右)が、追い突き→追い蹴りで一本を奪い、椎名舞(指定)に一本勝ち。「追い蹴り→追い突きは、たまに出す技。前蹴りで間合いが詰まったので、右拳で極めた」



↑【準々決勝】廣瀬まり(本部推薦／右)がスピードを生かした上段突きで二つの技有りを奪い、今井綾香(群馬)に勝利。



↑【準々決勝】椎名舞(指定／右)が上段突きで技有りを奪い、伊熊悠子(静岡)に判定勝ちを収めた。

椎名舞、2年連続の決勝へ

本命は3年前の王者で、前回準優勝の椎名舞(指定)。

準決勝で駒澤大4年の伊東佑季(本部推薦)を迎える。

試合開始から互いに動きが見られない



↑【準々決勝】石田真美(東京／左)は美濃部彩加(東京)の強打を受け、反則勝ちを収めるも、準決勝は棄権。



↑【準々決勝】伊東佑季(本部推薦／右)が塚本めぐみ(東京)に上段突きを二回極め、準決勝へ。

かったが、伊東が中段突きや上段突きで仕掛けるも、有効打にならず。今度は椎名が、前に出た伊東の突きに対して左上段突きを返し、技有りを先取すると、次の攻防で伊東の中段蹴りを押さえ、追い蹴り→追い突き。この技が技有りとなって、椎名の合わせ一本勝ち。2年連続で決勝進出を決めた。

一方のブロックから勝ち上がったのは、駒澤大4年の廣瀬まり(本部推薦)。

準々決勝で今井綾香(群馬)を破ると、石田真美(東京)との準決勝は不戦勝となり、決勝へ。石田は準々決勝で美濃部彩加(東京)の強打を受け、反則勝ちとなつて、準決勝は棄権した。

廣瀬まり、破竹の勢い

廣瀬まり(本部推薦)と椎名舞(指定)の決勝。開始早々、中段蹴りで仕掛けた椎名に対し、すぐさま中段蹴りや突きを返す廣瀬。

「技有りにはならなかったが、タイミングはつかめていた。協会の大会は、気持ちの強さが勝敗を分けると考えていた。下がらず前で勝負しようと思った。

ていた」という廣瀬は、その後も上段逆突きで椎名の出会いに飛び込むなど、試合を優位に進める。

しかし、椎名も負けてはいない。廣瀬の突きをよく見て、左上段突きを極め、技有りを先取。

椎名が流れをたぐり寄せたかと思えたが、「相手の起こりをみてしまうので、その前にいこうと思っていた」という廣瀬が、先をとって右前蹴りを蹴り込むと、すかさず右拳を椎名の上段へ。この追い蹴り↓追い突きが一本となり、廣瀬が一本勝ち。初の戴冠となった。



↑【準決勝】序盤から積極的に攻めた伊東佑季(本部推薦／右)だが、後の先で二つの上段突きを極めた椎名舞(指定)が合わせ一本勝ちを収めた。



↑【決勝】先手を取ったのは、椎名舞(指定／右)。

個人戦

男子形

栗原一晃、世界に向かう6連覇！

本命は、5連覇中の栗原一晃(指定)。「大会3週間前までは右肘がまともに動かなかった」という栗原であったが、決勝では演武順4番目に登場。今年も壮鎮を演武し、42・7の高得点を出す。

演武順5番目に登場した、弟の栗原秀元(指定)が五十四歩小で41・9と続いたが、誰も42点台を出す者は現れず、栗原(一)の6連覇が決まった。「当日、決勝のコートを確認したとき

に汚れがあり、滑る可能性があったので、絶対に失敗しないよう安定感を心がけた。世界大会では、安定ではなく、攻めの形を見せたい」と栗原。

来年は、大坂可治副首席師範が第20、26回大会で記録した7連覇に挑戦することとなる。



↑男子形で6連覇を成し遂げた栗原一晃(指定/壮鎮42.7)。「今回は、10月の世界大会につなげられるかがテーマでした」



↑準優勝は栗原一晃の実弟、駒澤大3年の栗原秀元(指定/五十四歩小41.9)。



↑4位の斎藤祐樹(新潟/雲手41.4)。



↑5位の丸岡直人(指定/壮鎮41.1)。



↑6位の根本敬介(本部推薦/十手41.0)。



↑7位の飯村吏毅哉(本部推薦/岩鶴39・9)。



↑3位の上田大介(指定/壮鎮41・6)。

個人戦

女子形

中町美希、体を絞りV3!

女子形の注目は、母親になってから2連覇中の中町美希(指定)。「初戦から動きがよかった」という中町は、予選と準決勝を勝ち進むと、決

勝では演武順4番目に登場。得意の五十四歩小で場内を魅了し、42・1。見事、3連覇を成し遂げた。試合後、「今回の大会も道場の方々、

友人、家族、みんなにサポートしていただき、何の問題もなく、大会当日を迎えることができました。感謝の気持ちでいっぱい。娘もいい子にしていってくれました(笑)」と中町。

2位争いは、演武順5番目の高木綾乃(指定)と演武順8番目の氷川菜緒(指定)が41・9と同点。再試合の結果、準優勝に氷川、3位に高木という結果になった。



➡ 3連覇に輝いた中町美希(指定/五十四歩小42・1)。「去年の冬から食事の管理日常生活の姿勢も見直し、身体を絞って(7キロ減)、スピードを磨いてきた」



↑3位の高木綾乃(指定/五十四歩大41.9→41.8)。



↑5位のローシン・キャンベル(茨城/壮鎮41.2)。



↑4位の上杉ユミ(埼玉/雲手41.7)。



↑8位の関大空(長野/壮鎮40.4)。



↑7位の久保田朋美(北信越地区/五十四歩小40.9)。



↑6位の松原美咲(大阪/五十四歩小41.0)。



↑準優勝は、前回3位だった駒澤大4年の氷川菜緒(指定/五十四歩小41.9→42.4)。

団体戦

都道府県形

茨城県本部が3連覇!

都道府県一般形は22チームが参加。
3連覇を狙う茨城県本部は全員が水城高OB(大塚健人・栗原秀元・飯島龍太)。
順位決定戦で一番目に登場し、岩鶴で42・1。0・1差ながら東京都本部の

壮鎮(42・0)を退け、3年連続優勝。
試合後、栗原は「メンバーが豊口貴悠から飯島龍太へと変わりましたが、平常心で臨めました」と語った。



↑3連覇の茨城県本部(大塚健人・栗原秀元・飯島龍太)。



↑3位の大阪府本部(五十四歩小/40.5)。



↑昨年に続いて2位の東京都本部(壮鎮)。

団体戦

女子形

駒澤大、王座奪還!

団体戦女子形は26チームが参加。
昨年5年ぶり7回目の優勝を遂げた青山学院大(直轄団体)が一番目に壮鎮で41・5。
昨年2位となった駒澤大(直轄団体)のメンバーは氷川菜緒(4年)、早川梨緒(2年)、国分円香(3年)。最後に登

場し、五十四歩小で42・1を出し、王座奪還。
「氷川先輩が教育実習のため、三人で合わせる時間は限られていましたが、心を一つにすることができました」(国分)



↑女子団体形は駒澤大が2年ぶり9回目の優勝。



↑3位に入った大東支部の五十四歩小(41.3)。



↑2位の青山学院大は壮鎮で41.5。

団体戦

大学形

駒澤大39回目V!

13チームが参加した団体戦大学形。前回の優勝メンバーである渡辺拓巳（4年）、掃詰友志・栗原秀元（共に3年）で臨んだ駒澤大（直轄団体）。

「大石武士師範の指示通り、五十四歩

小から雲手に決勝形を変えてから一日20回、二週間以上取り組んできました」という稽古の裏付け通り、42・4を出し、5年連続39回目の優勝に輝いた。



↑駒澤大（直轄団体）が雲手で42.4。5年連続39回目の優勝。



↑3位の防衛大（直轄団体／40.7）の慈恩。



↑準優勝の青山学院大（直轄団体／41.8）の雲手。

団体戦

高校生形

茨城4回目の優勝!

団体戦高校生形は、息のあった燕飛を演武した茨城県本部が37・5を叩き出して3年ぶり4回目の優勝。

水城高校の大内寿文監督は「燕飛は三人が一番自信を持っている形。これで大槻維也、原銀児（3年）、澤畑拓匠

（2年）で演武するのは最後。しかし、次の世代にバトンを渡す優勝となった」と語った。

なお、2位には十手を演武した浜松開成館（静岡）、3位には慈恩を演武した栄北（埼玉）が続いた。



↑優勝した茨城県本部の燕飛（37.5）。



↑3位の栄北（埼玉）の慈恩。



↑準優勝の浜松開成館（静岡）の十手。

団体戦

一般形

北方支部、悲願の初優勝！



↑一般団体形で初優勝の北方支部（岐阜）／五十四歩小。



↑3位の鴨空会（直轄団体）。



↑準優勝の哲士会（長野）／雲手。

団体戦一般形には28チームが参加。3番目に鴨空会（直轄団体）が雲手で41・3を出し、トップに立つ。しかし、7番目に登場した哲士会（長野）が雲手で0・2上回ると、最後に登場した昨年3位の北方支部（岐阜）が五

十四歩小で41・6を出し、初優勝。今年38歳の今壮志は「今年は全員男子で固め、優勝を狙いました。五十四歩小はメンバー全員の得意形。極めの強さを意識しました」と語った。

個人戦

高校生形

高2の本龍二V2！



↑個人戦高校男子形で連覇した本龍二（千葉）が燕飛で36.4。「スピードを意識しました」



↑2位の梅山竣也（群馬）の燕飛／36.2。



↑3位の木村優希（岡山）の燕飛／36.2。

個人戦高校男子形には1000名が参加。順位決定戦では、連覇を狙う拓大紅陵2年の本龍二（千葉）が燕飛で36・4。7番目に演武した梅山竣也（群馬）

との燕飛対決を制し、連覇を達成した。試合後「本当に好きなのは慈恩。しかし、今回は燕飛で勝負しました」と本。

個人戦

高校生女子形

小林里菜、ステップアップV!

87名が参加した個人戦高校生女子形。「中学3年で1位、高校1年で3位、昨年は2位でしたので、今年は優勝したかった」という水城高3年の小林里菜(茨城)が5番目に登場。「大きく見せることを意識した」という観空大で

36・5を出して、嬉しい初優勝。試合後「次の目標は世界大会。前は2位だったので優勝」と、すでに視線は次の目標へと向いていた。2位には石原優(長野)、3位には横須賀めぐ(茨城)が続いた。



↑優勝した小林里菜(茨城)の観空大。「予選の平安の形から調子良かった」



↑準優勝の石原優(長野)の観空大(36.1)。



↑3位の横須賀めぐ(茨城)の燕飛(35.9)。

団体戦

都道府県組手

静岡県本部、3年ぶり7度目の優勝!

静岡県本部と群馬県本部の間で争われた団体戦都道府県組手の決勝戦。

先鋒戦に出場した秋山晃兵(静岡)が二つの技有りを奪って勝利すると、次鋒戦も、右前構えの清水克彦(静岡)が飛び込み左上段突きを二つ極め、合わせて一本勝ちで連勝する。



↑決勝は、静岡県本部が対戦スコア4-1で群馬県本部に勝利。中堅の大沢侑矢(静岡/左)が上段突きの返し技で二つの技有りを奪い、優勝を決定づける3勝目をあげた。

王手をかけた静岡県本部は、中堅の大沢侑矢(静岡)も上段突きの返し技で二つの技有りを奪い、3連勝。この瞬間、静岡県本部の3年ぶり7度目の優勝が決まった。

その後、群馬県本部も大将戦で一矢報いたが、対戦スコア4-1で静岡県本部の勝利となった。

なお3位決定戦は、埼玉県本部が対戦スコア3-2で福岡県本部に勝利した。



↑3年ぶり7回目の優勝に輝き、文部科学大臣杯を獲得した静岡県本部。



↑3年連続準優勝となった群馬県本部。



団体戦

一般組手

福源院道場、初の栄冠を獲得！



↑決勝は、福源院道場(山梨)が対戦スコア2-1で高田支部(新潟)に勝利。大将の佐藤弟憲(福源院道場/左)が優勝を決める2勝目を上げた。



↑準優勝した高田支部(新潟)。



↑初優勝に輝いた福源院道場（山梨）。

団体戦一般組手は、福源院道場（山梨）と高田支部（新潟）の間で決勝が争われた。

先鋒戦は井田恭平（高田支部）が勝利し、高田支部が先手をとるも、中堅戦では新藤健人（福源院道場）が技有りを一つ奪って判定勝ちを収めると、続く大将戦も佐藤弟憲（福源院道場）が二つの技有りを奪って合わせ一本勝ち。

対戦スコア2―1とした福源院道場がうれしい初優勝をもちとった。

なお3位決定戦は、習志野会A（千葉）が対戦スコア2―1で矢本支部（宮城）に勝利した。

団体戦

大学組手

駒澤大学、史上最多19回目のV！



↑ 2年ぶり19回目の優勝を遂げた駒澤大学(直轄団体)。



団体戦大学組手の決勝は、駒澤大学（直轄団体）と青山学院大学（直轄団体）が対戦。

先鋒の橋口龍三（駒澤大3年）と次鋒の太田翔一郎（駒澤大3年）で連勝した駒澤大学は、中堅にポイントゲッターの鳴島由貴（駒澤大3年）を送り出すと、その鳴島が期待に応える活躍をみせ、優勝を決定づける3勝目をあげた。

優勝記録を更新する19回目の優勝を決めた。

なお3位決定戦は、関東学院大学(神奈川)が対戦スコア5-0で東京経済大学(直轄団体)に勝利した。



団体戦

女子組手

駒澤大学、史上最多8回目のV!



→駒澤大学(直轄団体)が対戦スコア3-0で東京都本部(東京)に勝利。先鋒戦に出場した田口聡珠(駒澤大4年/右)がチームを勢いづける勝利を上げた。



↑再び王座に返り咲いた駒澤大学(直轄団体)。自身が持つ最多優勝記録を更新する8回目の優勝となった。



↑準優勝した東京都本部(東京)。

駒澤大学(直轄団体)と東京都本部(東京)が激突した団体戦女子組手の決勝戦。
先鋒戦で田口聡珠(駒澤大4年)が先勝した駒澤大学は、中堅戦に廣瀬まり(駒澤大4年)を送り込むと、その廣瀬が技有りを二つ奪って、優勝を決定づける勝利を上げた。
さらに大将戦も伊東佑季(駒澤大4年)が勝利を収め、駒澤大学が対戦スコア3-0で完勝。同時に2年ぶり8回目の優勝が決まった。
なお3位決定戦は、浜松開誠館(静岡)が対戦スコア2-1で福岡県本部(福岡)を退けた。

団体戦

高校生組手

埼玉栄高校、初優勝をつかむ!



↑埼玉栄(埼玉)が対戦スコア3-0で栄北高校(埼玉)に勝利。中堅の大島紘樹(埼玉栄2年/左)が優勝を決める2勝目を上げた。



↑準優勝した栄北高校(埼玉)。



↑初優勝の栄冠に輝いた埼玉栄高校(埼玉)。

団体戦高校生組手の決勝は、埼玉栄高校(埼玉)と栄北高校(埼玉)の埼玉県対決が実現。
先鋒戦では、山田大樹(埼玉栄3年)が技有りを一つをリードし、判定勝ちを収める。後がなくなった栄北高校だったが、次の中堅戦でも大島紘樹(埼玉栄2年)がきっちり上段突きを極めて技有りを奪い、2連勝した埼玉栄高校

が初優勝を決めた。
さらに大将戦も栗野裕太(埼玉栄3年)が勝利し、対戦スコア3-0で埼玉栄高校の勝利となった。
なお3位決定戦は、山口県鴻城高校(山口)が対戦スコア2-1で福島県本部(福島)に勝利した。

個人戦

高校生男子組手

宮垣力也、二つの上段突きでV!



高校生男子組手の決勝は、東九州龍谷3年の宮垣力也(福岡)と東洋大学附属牛久2年の尾見奨研(茨城)の間で決勝が争われた。

開始早々、技有りを先取したのは、上段突きを極めた宮垣。尾見の前蹴りに上段突きを合わせると、これは互いに不十分な技となったが、間をおかず

に叩き込んだ2発目の上段突きが有効打となった。

その後は、飛び込む宮垣とそれを迎える尾見という図式となり、どちらも有効打を放てなかったが、終盤、先をとって飛び込んだ宮垣のワンツーが技有りとなり、勝負あり。宮垣が優勝を勝ちとった。



↑決勝は、東九州龍谷3年の宮垣力也(福岡/左)が上段突きで二つの技有りを奪い、東洋大学附属牛久2年の尾見奨研(茨城)に勝利した。

個人戦

高校生女子組手

齋藤綾夏、前回からの雪辱V!



高校生女子組手の決勝は、山口県鴻城3年の齋藤綾夏(山口)と水戸女子2年の石川和泉(茨城)が対戦。

主審の試合開始の合図から、体格を生かしてプレッシャーかける齋藤に対し、横に動いて間合いを切る石川。しばらく見合

った状態が続いたが、齋藤の足払いからの上段突きが極まり、齋藤が技有りを先取する。

は飛び込んできた石川に上段突きを返し、二つ目の技有りを奪取。前回、惜しくも準優勝に終わった齋藤が念願の優勝をつかみとった。



↑準優勝した水戸女子2年の石川和泉(茨城)。



↑優勝したのは、山口県鴻城3年の齋藤綾夏(山口/右)。

大会結果

女子個人組手

優勝●廣瀬まり(本部推薦)
準優勝●椎名舞(指定)
第3位●石田真美(東京)／伊東佑季(本部推薦)

優勝●廣瀬まり(本部推薦)

福場久美子(直轄団体)
福光恵梨奈(滋賀)
今井絢香(群馬)
佐藤文香(千葉)
小山まゆみ(静岡)
松原美咲(大阪)
柿本菜摘(広島)
菊地葉月(青森)
大野優佳(福島)
西村わこ(埼玉)
二村智代(愛知)
飯塚明日香(東京)
上田美央(香川)
小林ノリコ(神奈川)
藤田実菜子(福岡)
河井恵理子(茨城)
廣瀬まり(本部推薦)
比企麻里奈(新潟)
野島夕起子(兵庫)
飯島希(茨城)
黒田美花(福岡)
市川美咲(東京都)
石田真美(東京)
大矢真未(直轄団体)
木戸希望(東京)
堀内麻子(神奈川)
増田真子(静岡)
美濃部彩加(東京)
三浦加奈(長野)
Roisin Campbell(茨城)
安藤陽子(埼玉)
市原志穂(千葉)
佐野まどか(指定)

男子個人組手

根本敬介(指定)
草野竜太(茨城)
大塚浩二(岩手)
菊地祥宏(栃木)
村田道恒(三重)
谷山剣士郎(東京)
佐藤進平(埼玉)
山下桂一(愛媛)
岩月彰(直轄団体)
中村大樹(長野)
鳥羽智史(静岡)
大澤努(千葉)
重吉諒二(福岡)
栗原一晃(本部推薦)
浅野真治(宮城)
芳賀裕介(東京)
本多和馬(関東地区)
藤井康弘(青森)
平澤聖也(秋田)
蛭田将暉(直轄団体)
重吉晃多(福岡)
渡邊拓巳(静岡)
行方晃弘(群馬)
鈴木拓磨(埼玉)
袴田健史(神奈川)
福井健太(岐阜)
土屋周太(岡山)
渡辺信之介(新潟)
志木亮介(指定)
上田大介(指定)
矢野智之(福岡)
京増義宗(神奈川)
清水克彦(東海地区)
今野裕登(宮城)
瀬谷龍介(東北地区)
東伸治(富山)
野村健太(岐阜)
杉田友裕(東京)
田中光顕(熊本)
稲見研人(東京)
芹沢尚弘(静岡)
渡辺慧拓(千葉)
後藤誠爾(埼玉)
長谷川誠(茨城)
大金勇太郎(東京)
佐藤薫(兵庫)
松本一幸(滋賀)
山口翔平(石川)
中島二郎(愛知)
太田誠(千葉)
薮崎琢也(直轄団体)
上地悠太(三重)
高野一凌(新潟)
上甲喜一(大分)
栗原秀元(茨城)
後藤恭佑(福岡)
茂木豊則(埼玉)
忠鉢考治(指定)

優勝●飯村吏毅哉(指定)

糸田力(指定)
津田健陽(宮城)
村脇優(静岡)
竹中拓海(東京)
伊藤恵介(千葉)
廣松憲和(直轄団体)
菅原元太郎(茨城)
竹内一真(長野)
影山新之助(岡山)
浦部拓麻(兵庫)
長尾守泰(和歌山)
美濃部将啓(東京)
西村信八(埼玉)
魚住勝貴(愛媛)
山田祥博(京都)
村上裕樹(神奈川)
長原竜二(富山)
箕輪優太(栃木)
砂山翔太郎(石川)
宮本健司(千葉)
竹中一馬(東京)
永田祐樹(北海道)
高柳雄路(東京)
加藤玄太(新潟)
松本大輔(長崎)
岡野拓馬(三重)
宮崎真乃介(福岡)
升田涼介(岐阜)
柚木健彰(指定)
飯村吏毅哉(指定)
野口直人(広島)
岡田泰典(茨城)
内田大貴(埼玉)
河島秀範(岐阜)
成澤正和(山形)
今野慶貴(福岡)
宮澤優斗(長野)
森昭浩(中国地区)
木津浩介(九州地区)
リチャード・ヘルマン(東京)
児玉侑也(宮城)
高谷将拳(北海道)
佐伯靖治(千葉)
辻岳(静岡)
阿久津翔伍(茨城)
山本祐嗣(大阪)
石田一樹(福岡)
小川稜二(秋田)
小木篤史(福島)
川野雅也(静岡)
平石雄也(愛知)
希代凌(直轄団体)
鈴木翔也(山梨)
佐々木真士(大分)
石井進治(埼玉)
袴田裕士(神奈川)
溝田航一郎(京都)
佐藤真輝(東京)
猪越悠介(指定)

高校女子個人組手

優勝●齋藤綾夏(山口)
準優勝●石川和泉(茨城)
第3位●上山玲奈(埼玉)／真室美加子(神奈川)

優勝●齋藤綾夏(山口)

大森ひかる(山梨)
佐藤早和子(茨城)
上地葉月(三重)
一杉菜々子(静岡)
井上笑里(新潟)
岡田日花里(東京)
米良寿々乃(栃木)
及川風香(岩手)
石合郁香(神奈川)
山田有夕那(富山)
塩澤恵実(東京)
小笠原美彩(東京)
稲津紗輝(静岡)
折戸朝香(山梨)
伊藤朱里(長野)
工藤晴香(大阪)
上山玲奈(埼玉)
半田久瑠実(熊本)
大岩恵利花(千葉)
中田悠乃(直轄団体)
近藤彩可(福岡)
鶴巻佳乃(東京)
秋山響子(新潟)
森丘奈緒(富山)
藤田麗子(神奈川)
藤田村千裕(東京)
永野公佳(東京)
関百花(静岡)
岡本早稀(茨城)
杉山雛乃(長野)
畑中咲莉衣(三重)
原田麻友香(福岡)
彦坂美羽(静岡)
川口泉(大阪)
村形美桜(山形)
児玉菜摘(福岡)
中村紗菜(群馬)
齊藤綾夏(山口)
田平千紗(岐阜)
神田麻那(兵庫)
平門瞳(北海道)
三浦彩(千葉)

男子個人組手

優勝●飯村吏毅哉(指定) 準優勝●根本敬介(指定)
第3位●柚木健彰(指定)／上田大介(指定)

都道府県団体組手

東京都本部	4	3	優勝●静岡県本部	1	福井県本部	1	山梨県本部	4
栃木県本部	0	0		2	広島県本部	4	富山県本部	0
福島県本部	0	0		1	大阪府本部	1	京都府本部	5
新潟県本部	2	2		1	山形県本部	3	埼玉県本部	0
秋田県本部	0	1		4	熊本県本部	1	愛知県本部	2
青森県本部	2	2		3	岩手県本部	4	岐阜県本部	0
岡山県本部	0	3		4	石川県本部	2	宮城県本部	5
福岡県本部	2	4		4	群馬県本部	3	群馬県本部	3
三重県本部	4	4		1				
長野県本部	1	2		4				
千葉県本部	1	1		1				
神奈川県本部	3	1		4				
静岡県本部	3	5		3				
茨城県本部	2	3		3				
長崎県本部	0	0		3				
★3位決定戦								
福岡県本部	2		準優勝●群馬県本部	4	埼玉県本部	3		
埼玉県本部	3							

一般団体組手

哲士会(長野)	1	2	3	優勝●福源院道場山梨	1	2	3	準優勝●高田支部新潟	1	2	3
高田支部(新潟)	2	3	0	準優勝●高田支部新潟	1	2	3	準優勝●高田支部新潟	1	2	3
桜志会(直轄団体)	0	0	3	準優勝●高田支部新潟	1	2	3	準優勝●高田支部新潟	1	2	3
愛空会(愛知)	1	2	0	準優勝●高田支部新潟	1	2	3	準優勝●高田支部新潟	1	2	3
池上支部B(東京)	1	0	0	準優勝●高田支部新潟	1	2	3	準優勝●高田支部新潟	1	2	3
中原支部(神奈川)	1	0	0	準優勝●高田支部新潟	1	2	3	準優勝●高田支部新潟	1	2	3
中東支部(茨城)	2	0	2	準優勝●高田支部新潟	1	2	3	準優勝●高田支部新潟	1	2	3
習志野会B(直轄団体)	0	0	0	準優勝●高田支部新潟	1	2	3	準優勝●高田支部新潟	1	2	3
所沢支部(埼玉)	2	0	2	準優勝●高田支部新潟	1	2	3	準優勝●高田支部新潟	1	2	3
北方支部(岐阜)	1	3	0	準優勝●高田支部新潟	1	2	3	準優勝●高田支部新潟	1	2	3
スポーツアカデミー(富山)	0	0	0	準優勝●高田支部新潟	1	2	3	準優勝●高田支部新潟	1	2	3
豊築支部A(福岡)	0	0	0	準優勝●高田支部新潟	1	2	3	準優勝●高田支部新潟	1	2	3
西宮支部(兵庫)	1	1	2	準優勝●高田支部新潟	1	2	3	準優勝●高田支部新潟	1	2	3
足立支部(東京)	2	2	2	準優勝●高田支部新潟	1	2	3	準優勝●高田支部新潟	1	2	3
二子玉川支部(東京)	2	2	2	準優勝●高田支部新潟	1	2	3	準優勝●高田支部新潟	1	2	3
武士道場(山形)	3	1	0	準優勝●高田支部新潟	1	2	3	準優勝●高田支部新潟	1	2	3
天草支部(熊本)	0	1	0	準優勝●高田支部新潟	1	2	3	準優勝●高田支部新潟	1	2	3
濤悠会B(直轄団体)	0	1	0	準優勝●高田支部新潟	1	2	3	準優勝●高田支部新潟	1	2	3
新小岩支部(東京)	3	1	1	準優勝●高田支部新潟	1	2	3	準優勝●高田支部新潟	1	2	3
矢上支部A(東京)	1	1	2	準優勝●高田支部新潟	1	2	3	準優勝●高田支部新潟	1	2	3
浜松中央支部(静岡)	2	2	2	準優勝●高田支部新潟	1	2	3	準優勝●高田支部新潟	1	2	3
桑名北支部(三重)	1	1	1	準優勝●高田支部新潟	1	2	3	準優勝●高田支部新潟	1	2	3
目黒支部(東京)	0	2	2	準優勝●高田支部新潟	1	2	3	準優勝●高田支部新潟	1	2	3
矢本支部(宮城)	3	3	2	準優勝●高田支部新潟	1	2	3	準優勝●高田支部新潟	1	2	3
日本空港サービス(千葉)	2	2	2	準優勝●高田支部新潟	1	2	3	準優勝●高田支部新潟	1	2	3
三菱空手道部A(直轄団体)	1	1	1	準優勝●高田支部新潟	1	2	3	準優勝●高田支部新潟	1	2	3
公和館(長野)	0	0	0	準優勝●高田支部新潟	1	2	3	準優勝●高田支部新潟	1	2	3
★3位決定戦 矢本支部(宮城) 1 習志野会A 2											

大学生団体組手

駒澤大学(直轄団体)	5	5	●優勝	1	防衛大学校(直轄団体)	1
帝京大学宇都宮(栃木)	0	5	駒澤大学	2	東北学院大学(宮城)	2
千葉工業大学(直轄団体)	3	5	●準優勝	3	筑波大学医学部(茨城)	3
福井工業大学(福井)	1	0	青山学院大学	5	青山学院大学(直轄団体)	5
国際医療福祉大学(栃木)	1	4	1	5	関東学院大学(神奈川)	5
東京経済大学(直轄団体)	4	4	0	5	自治医科大学(栃木)	0
首都大学東京(直轄団体)	2	1	0	0	亜細亜大学(直轄団体)	0
東北学院大学工学部(宮城)	3	3	1	5	愛知学院大学(愛知)	5
★3位決定戦 東京経済大学(直轄団体) 0 関東学院大学(神奈川) 5						

高校生団体組手

松商学園高校(長野)	3	1	●優勝	0	南横浜支部(神奈川)	0
博多高校(福岡)	1	0	埼玉栄高校	2	錦城高校(直轄団体)	2
石川県本部(石川)	2	0	埼玉栄高校	2	尾鷲支部(三重)	1
埼玉栄高校(埼玉)	3	3	埼玉栄高校	0	国分寺支部(東京)	0
新川高校(富山)	0	2	埼玉栄高校	3	栄北高校(埼玉)	3
岐阜県本部(岐阜)	0	0	埼玉栄高校	0	松本第一高校(長野)	0
新潟県本部(新潟)	0	0	埼玉栄高校	0	長野若槻支部(長野)	0
岡山県本部(岡山)	1	2	●準優勝	0	流空会支部(茨城)	0
目黒学院高校(直轄団体)	2	2	栄北高校	3	水原支部(新潟)	3
光明学園相模原(神奈川)	1	0	栄北高校	1	浜松開誠館(静岡)	1
江差支部(北海道)	2	1	栄北高校	0	福岡県本部(福岡)	0
福島県本部(福島)	2	2	栄北高校	3	山口県鴻城高校(山口)	2
★3位決定戦						
福島県本部(福島)	1	山口県鴻城高校	2			

高校生男子個人組手

山口周平(福岡)	1	宮垣力也(福岡)	1
橋本有矢(三重)	1	三上純希(石川)	2
関口翔太(群馬)	1	田畑裕一(富山)	1
廣田諒(北海道)	1	真田康希(神奈川)	1
山田佳樂(東京)	1	小川凜(三重)	1
佐藤勝成(茨城)	1	矢口大貴(長野)	1
木村優希(岡山)	1	泉山晃輝(岩手)	1
廣田瑞歩(東京)	1	岡村要人(埼玉)	1
前田賢佑(東京)	1	今川祐哉(静岡)	1
浜田心平(東京)	1	志村勇伊(山梨)	1
三須滋英(静岡)	1	笠松亮太(北海道)	1
朝倉康平(直轄団体)	1	石井颯人(山口)	1
福井拓磨(岐阜)	1	矢口兼聖(静岡)	1
宮下勇人(静岡)	1	西田智也(埼玉)	1
滝口寛太(山梨)	1	大塚晴斗(新潟)	1
佐藤海旗(新潟)	1	楠理久(茨城)	1
伊藤八尋(長野)	1	森本昇吾(大阪)	1
谷山高士郎(東京)	1	三浦陽平(北海道)	1
山田大樹(埼玉)	1	占部雄太(福岡)	1
林将太郎(福岡)	1	山崎智史(東京)	1
高橋楓(大阪)	1	大久保直輝(神奈川)	1
永野風誠(神奈川)	1	松田凌弥(千葉)	1
田原慎也(熊本)	1	関口徹昭(直轄団体)	1
遠藤静哉(福島)	1	小泉勇貴(兵庫)	1
佐藤喜太郎(千葉)	1	赤迫慶貴(岡山)	1
大金憲龍(東京)	1	外種子田凌(福岡)	1
川本孝彰(石川)	1	上木大樹(東京)	1
平井孝昌(北海道)	1	田原弘三郎(神奈川)	1
吉田昂生(埼玉)	1	半田寛和(熊本)	1
杉山友太(静岡)	1	吉田健二(愛媛)	1
澤邊成(岐阜)	1	渡辺泰行(福岡)	1
恩慈隆生(東京)	1	干潟航大(石川)	1
石松遼太(福岡)	1	田村健(富山)	1
笹野由宇(神奈川)	1	駒崎大貴(長野)	1
大東勇輝(京都)	1	中村匡祐(山梨)	1
田口浩輔(千葉)	1	渡邊謙太(埼玉)	1
宮本拳聖(岡山)	1	松崎竜大(茨城)	1
世古幸輝(三重)	1	古田岳寛(静岡)	1
市田海斗(長野)	1	中村峻大(北海道)	1
上田龍臣(愛媛)	1	棚瀬永一朗(岐阜)	1
津田誠太(富山)	1	熊谷真人(静岡)	1
吉田輝(埼玉)	1	山田大空(三重)	1
本多玄馬(千葉)	1	寺下将(京都)	1
田中蓮(福岡)	1	金田拓也(群馬)	1
斎藤柁弥(新潟)	1	小早川直澄(福岡)	1
佐藤広大(神奈川)	1	松田陸来(東京)	1
菊地智晴(栃木)	1	比企航太(新潟)	1
尾見奨研(茨城)	1	大日向歴(東京)	1
大河陸希(静岡)	1	浦野寛太郎(兵庫)	1
大西直人(兵庫)	1	高田堂佑(千葉)	1
		大島紘樹(埼玉)	1

優勝●宮垣力也(福岡) 準優勝●尾見奨研(茨城)
第3位●半田寛和(熊本)/宮下勇人(静岡)

女子団体組手

駒澤大学(直轄団体)	3	優勝●駒澤大学(直轄団体)	1	大阪府本部(大阪)	1
青森県本部(青森)	0	2	2	東京都本部(東京)	2
静岡県本部(静岡)	3	2	2	東京経済大学(直轄団体)	2
茨城県本部(茨城)	0	1	1	松商学園高校(長野)	3
埼玉県本部(埼玉)	1	1	1	水戸女子高校(茨城)	0
府中支部(東京)	0	2	2	福源院道場(山梨)	2
青山学院大学(直轄団体)	3	3	3	習志野支部(千葉)	2
小金井支部(東京)	0	3	3	首都大学東京(直轄団体)	0
學而館道場(千葉)	2	2	2	山形県本部(山形)	3
安曇野支部(長野)	1	1	1	光明学園相模原(神奈川)	3
広島県本部(広島)	1	1	1	所沢支部(埼玉)	1
愛空会(愛知)	1	2	2	亜細亜大学(直轄団体)	0
大東支部(大阪)	1	1	1	筑波大学医学部(茨城)	2
松本第一高校(長野)	2	3	3	浜松開誠館(静岡)	2
錦城高校(直轄団体)	1	1	1	愛知学院大学(愛知)	3
国際医療福祉大学(栃木)	0	0	0	宮城県本部(宮城)	3
福岡県本部(福岡)	2	2	2	下北沢支部B(東京)	0
石川県本部(石川)	0	1	1	公和館(長野)	0
防衛大学校(直轄団体)	3	3	3	新潟県本部(新潟)	2
神奈川県本部(神奈川)	0	0	0	自治医科大学(栃木)	0
哲士会(長野)	3	3	3	博多高校(福岡)	1
				濤悠会(直轄団体)	1

★3位決定戦 福岡県本部(福岡) 1 浜松開誠館(静岡) 2

男子個人形

上位4名順位決定戦へ		得点	順位	得点	上位4名順位決定戦へ
吉田直之(指定)	栗原秀元(指定)	40.6	41.8	栗原秀元(指定)	
谷山剣士郎(東京)	工藤洗希(岐阜)			工藤洗希(岐阜)	
希代凌(直轄団体)	長原竜二(富山)			長原竜二(富山)	
菅原貴幸(新潟)	徳野真規(近畿地区)			徳野真規(近畿地区)	
影浦健一(愛知)	長谷川誠(茨城)			長谷川誠(茨城)	
堤敦志(福岡)	岸間大幸(神奈川)			岸間大幸(神奈川)	
山下桂一(愛媛)	竹中拓海(東京)			竹中拓海(東京)	
佐々木真士(大分)	板倉弘明(埼玉)			板倉弘明(埼玉)	
山田湧也(岐阜)	渡邊拓巳(静岡)			渡邊拓巳(静岡)	
岡田和浩(静岡)	黒田将崇(福岡)			黒田将崇(福岡)	
南陽水(千葉)	影山新之助(岡山)			影山新之助(岡山)	
大家浩二(岩手)	伊藤匡(三重)			伊藤匡(三重)	
塚田真二(茨城)	安藤誠(京都)			安藤誠(京都)	
井田涼(埼玉)	福原英樹(指定)			福原英樹(指定)	
飯村吏毅哉(本部推薦)	根本敬介(本部推薦)			根本敬介(本部推薦)	
岸上和人(熊本)	新山聖将(青森)			新山聖将(青森)	
ジョシュウェルバー(直轄団体)	岡田敏秀(茨城)			岡田敏秀(茨城)	
池々谷有希(静岡)	寺島寿(群馬)			寺島寿(群馬)	
佐藤亮太(宮城)	渡辺信之介(新潟)			渡辺信之介(新潟)	
中田匠(埼玉)	兼高柳雄路(東京)			兼高柳雄路(東京)	
福島大士(滋賀)	藪崎琢也(直轄団体)			藪崎琢也(直轄団体)	
橋口拳吾(東京)	矢吹直也(宮城)			矢吹直也(宮城)	
平澤聖也(秋田)	杉山徳彦(北海道)			杉山徳彦(北海道)	
池田透(千葉)	森智規(千葉)			森智規(千葉)	
齋藤力耶(山形)	野津将太(栃木)			野津将太(栃木)	
野口雄介(長野)	保科悠樹(長野)			保科悠樹(長野)	
植村和隆(福岡)	村田光平(埼玉)			村田光平(埼玉)	
小林優太(神奈川)	忠鉢考治(本部推薦)			忠鉢考治(本部推薦)	
上田大介(指定)	猪越悠介(指定)			猪越悠介(指定)	
丸岡直人(指定)	松下祐輔(東京)			松下祐輔(東京)	
廣松憲和(直轄団体)	金山空(石川)			金山空(石川)	
村田純一(茨城)	勝又誠太(静岡)			勝又誠太(静岡)	
伊藤順平(福岡)	蛭田将暉(直轄団体)			蛭田将暉(直轄団体)	
山田祥博(京都)	天野陽介(千葉)			天野陽介(千葉)	
高尾龍一郎(東京)	柿本俊輔(広島)			柿本俊輔(広島)	
柴垣源太(大阪)	後藤恭佑(福岡)			後藤恭佑(福岡)	
渡部秀次(兵庫)	稲見研人(埼玉)			稲見研人(埼玉)	
石見航平(埼玉)	野村健太(岐阜)			野村健太(岐阜)	
岸間千明(神奈川)	袴田裕士(神奈川)			袴田裕士(神奈川)	
辻本尚兵(千葉)	宮澤優斗(長野)			宮澤優斗(長野)	
加藤義人(東京)	今壮志(東海地区)			今壮志(東海地区)	
福井健太(岐阜)	追村拓磨(北信越地区)			追村拓磨(北信越地区)	
箕輪優太(栃木)	大金勇太郎(東京)			大金勇太郎(東京)	
土屋周太(岡山)	斎藤祐樹(新潟)			斎藤祐樹(新潟)	
志水亮介(本部推薦)	岡田泰典(茨城)			岡田泰典(茨城)	
石田一樹(福岡)	魚住勝貴(愛媛)			魚住勝貴(愛媛)	
西岡矩毅(埼玉)	重吉諒二(福岡県)			重吉諒二(福岡県)	
東佑太郎(北海道)	武田祐馬(千葉)			武田祐馬(千葉)	
鳥羽智史(静岡)	小川稜二(秋田)			小川稜二(秋田)	
木谷裕太郎(石川)	松本文二(愛知)			松本文二(愛知)	
小林伸夫(東京)	川口真吾(埼玉)			川口真吾(埼玉)	
城田國士(山梨)	永田祐樹(北海道)			永田祐樹(北海道)	
中村大樹(長野)	大林俊樹(東京)			大林俊樹(東京)	
石井志志(福島)	上甲喜一(大分)			上甲喜一(大分)	
山谷優太(富山)	青木真一朗(静岡)			青木真一朗(静岡)	
山下僚也(三重)	掃詰友志(三重)			掃詰友志(三重)	
今野登(宮城)	津田健陽(宮城)			津田健陽(宮城)	
栗原一晃(指定)	桑田力(指定)			桑田力(指定)	

順位	氏名	形名	得点
1	栗原一晃(指定)	壮鎮	42.7
2	栗原秀元(指定)	五十四歩小	41.9
3	上田大介(指定)	壮鎮	41.6
4	斎藤祐樹(新潟)	雲手	41.4
5	丸岡直人(指定)	壮鎮	41.1
6	根本敬介(本部推薦)	十手	41.0
7	飯村吏毅哉(本部推薦)	岩鶴	39.9
8	桑田力(指定)	棄権	—

都道府県団体形

各ブロック上位4チーム順位決定戦へ	得点	順位決定戦へ	得点	各ブロック上位4チーム順位決定戦へ
茨城県本部	42.1	40.5	群馬県本部	
栃木県本部	39.8	40.5	富山県本部	
秋田県本部	40.2	40.5	大阪府本部	
愛知県本部	40.0	39.2	広島県本部	
神奈川県本部	38.7	棄権	岩手県本部	
長野県本部	41.3	39.7	石川県本部	
岐阜県本部	41.2	40.5	宮城県本部	
静岡県本部	41.2	39.1	福井県本部	
千葉県本部	41.3	41.2	山梨県本部	
新潟県本部	39.5	41.0	埼玉県本部	
愛媛県本部	39.9	42.0	東京都本部	

順位	都道府県名	形名	得点
1	茨城県本部	岩鶴	41.7
2	東京都本部	壮鎮	41.5
3	大阪府本部	五十四歩小	40.6
3	千葉県本部	五十四歩小	40.6
5	長野県本部	半月	40.5
6	富山県本部	雲手	40.4
7	山梨県本部	壮鎮	40.3
8	秋田県本部	観空小	40.2

高校生女子個人形

上位4名順位決定戦へ		得点	順位	得点	上位4名順位決定戦へ
脇田蒼莉(千葉)	高橋李奈(神奈川)			高橋李奈(神奈川)	
上地葉月(三重)	森一月(栃木)			森一月(栃木)	
阿部真依(栃木)	渡辺未菜美(埼玉)			渡辺未菜美(埼玉)	
楠部紗永(東京)	浅野佳奈(新潟)			浅野佳奈(新潟)	
福島舞(京都)	秦乃英瑠(東京)			秦乃英瑠(東京)	
田村千裕(東京)	岡本真里(千葉)			岡本真里(千葉)	
石原優(長野)	野嶋紗己子(福岡)			野嶋紗己子(福岡)	
平門瞳(北海道)	浦上聖加(静岡)			浦上聖加(静岡)	
鈴木梨紗(茨城)	二神華奈子(愛媛)			二神華奈子(愛媛)	
川上睦未(静岡)	山崎花慧(富山)			山崎花慧(富山)	
原口紗英(埼玉)	小林里菜(茨城)			小林里菜(茨城)	
小泉文那(愛媛)	伊藤朱里(長野)			伊藤朱里(長野)	
中村柚女(大阪)	川口泉(大阪)			川口泉(大阪)	
高瀬史織(神奈川)	山田梓(岐阜)			山田梓(岐阜)	
森川茉帆(埼玉)	山口のぞみ(静岡)			山口のぞみ(静岡)	
太田安紀(静岡)	池平倫美(埼玉)			池平倫美(埼玉)	
松尾梨花(福岡)	石田莉佳子(三重)			石田莉佳子(三重)	
瀬戸望都(愛知)	木勢茉莉(直轄団体)			木勢茉莉(直轄団体)	
永田一紗(茨城)	田邊愛恵(福岡)			田邊愛恵(福岡)	
山田有夕那(富山)	折戸朝香(石川)			折戸朝香(石川)	
渋谷智果(宮城)	鈴木笑美(千葉)			鈴木笑美(千葉)	
岡田日花里(東京)	鶴巻佳乃(東京)			鶴巻佳乃(東京)	
亀井雪菜(石川)	神田麻那(兵庫)			神田麻那(兵庫)	
横須賀めぐみ(茨城)	仲神未緒(愛媛)			仲神未緒(愛媛)	
児玉菜摘(福岡)	宮川紀子(東京)			宮川紀子(東京)	
及川風香(岩手)	工藤晴香(茨城)			工藤晴香(茨城)	
秋山響子(新潟)	関百花(静岡)			関百花(静岡)	
後藤里緒(静岡)	田中佑華(埼玉)			田中佑華(埼玉)	
細野海月(埼玉)	紺谷優希(石川)			紺谷優希(石川)	
前多桃音(長野)	徳田侑香(神奈川)			徳田侑香(神奈川)	
桶谷歩未(東京)	井上笑里(新潟)			井上笑里(新潟)	
土田真菜(直轄団体)	松本あすか(愛媛)			松本あすか(愛媛)	
中込裕実(山梨)	中嶋芽唯(福岡)			中嶋芽唯(福岡)	
吉田穂乃花(福岡)	松島美桜(埼玉)			松島美桜(埼玉)	
岩下琴美(熊本)	水飼晴稀(茨城)			水飼晴稀(茨城)	
佐藤菜月(神奈川)	藤原梓(福岡)			藤原梓(福岡)	
田平千紗(岐阜)	要未菜(東京)			要未菜(東京)	
米良寿々乃(栃木)	杉山夏菜(山形)			杉山夏菜(山形)	
高梨未来(千葉)	山谷萌々(富山)			山谷萌々(富山)	
畑中咲莉衣(三重)	高木瑞季(長野)			高木瑞季(長野)	
一杉菜々子(静岡)	半田久瑠実(熊本)			半田久瑠実(熊本)	
工藤涼香(大阪)	大森ひかる(山梨)			大森ひかる(山梨)	
斎藤真鈴(東京)	小口莉央(千葉)			小口莉央(千葉)	
	八田賢美(神奈川)			八田賢美(神奈川)	

順位	氏名	形名	得点
1	小林里菜(茨城)	観空大	36.5
2	石原優(長野)	観空大	36.1
3	横須賀めぐみ(茨城)	燕飛	35.9
4	永田一紗(茨城)	観空大	35.7
5	鈴木笑美(千葉)	慈恩	35.3
6	水飼晴稀(茨城)	慈恩	35.2
7	米良寿々乃(栃木)	観空大	35.1
7	神田麻那(兵庫)	観空大	35.1

高校生男子個人形

樋口 葵(新潟)	澤邊 成(岐阜)
小垣 勇太(埼玉)	木村 優希(岡山)
浜田 心平(東京)	南部 勇登(三重)
橋本 有矢(三重)	芦澤 康太朗(山梨)
伊熊 一尋(静岡)	村上 賢(静岡)
川淵 航介(石川)	酒巻 純(埼玉)
大久保 広稀(茨城)	大塚 晴斗(新潟)
松田 陸来(東京)	赤木 大翔(大阪)
武吉 慶樹(福岡)	森山 幸樹(東京)
佐藤 広大(神奈川)	白石 航平(茨城)
若林 諒太(長野)	田中 蓮(福岡)
中川 樹(北海道)	大日向 歴(東京)
小泉 勇貴(兵庫)	伊藤 八尋(長野)
寺下 将(京都)	山村 優樹(富山)
佐藤 喜太郎(千葉)	原 大悟(愛媛)
都丸 快(埼玉)	西口 遼(兵庫)
田村 健(富山)	干潟 航大(石川)
大野 陽平(福島)	占部 雄太(福岡)
林 直輝(東京)	原 銀児(茨城)
吉田 健二(愛媛)	増田 燎(北海道)
江川 和輝(静岡)	水野 魁政(神奈川)
尾見 奨研(茨城)	滝沢 仁希(直轄団体)
外種子 田凌(福岡)	松田 凌弥(千葉)
笹野 由宇(神奈川)	根上 裕貴(静岡)
金田 拓也(群馬)	水岡 勇也(京都)
谷山 高士郎(東京)	大金 憲龍(東京)
本 龍二(千葉)	遠藤 静哉(福島)
宮垣 力也(福岡)	堀澤 龍馬(埼玉)
三浦 陽平(北海道)	廣田 諒(北海道)
山田 大空(三重)	上田 龍臣(愛媛)
大槻 維也(茨城)	梅山 竣也(群馬)
泉山 滉輝(岩手)	世古 幸輝(三重)
秋山 幸輝(埼玉)	高田 堂佑(千葉)
松下 孔太夫(山梨)	志村 勇伊(山梨)
茅根 孝記(直轄団体)	杉山 大知(静岡)
菊地 智晴(栃木)	瓜生 詩音(福岡)
今川 祐哉(静岡)	佐藤 海旗(新潟)
永野 風誠(神奈川)	大久保 直輝(神奈川)
福井 拓磨(岐阜)	浦野 寛太郎(兵庫)
津田 誠太(富山)	増田 廉(北海道)
山口 優(大阪)	澤畑 匠(茨城)
白井 建(静岡)	田口 舜平(埼玉)
田原 慎也(熊本)	平野 将義(千葉)
中橋 和那(東京)	河村 颯真(東京)
北澤 久遠(長野)	平井 浩気(京都)
山口 周平(福岡)	真田 康希(神奈川)
吉川 期龍(埼玉)	村松 樹(長野)
水谷 綾真(千葉)	宮田 海斗(東京)
斎藤 柁弥(新潟)	梅山 晟也(静岡)
山田 佳樂(東京)	石松 遼太(福岡)

順	氏 名	形 名	得点
1	本 龍二(千葉)	燕 飛	36.4
2	梅山 竣也(群馬)	燕 飛	36.2
3	木村 優希(岡山)	燕 飛	36.2
4	平野 将義(千葉)	慈 恩	36.2
5	水谷 綾真(千葉)	慈 恩	35.9
6	原 銀児(茨城)	観 空 大	35.8
7	笹野 由宇(神奈川)	観 空 大	35.7
8	大久保 広稀(茨城)	観 空 大	35.5

女子個人形

影山 日向子(指定)	得点	高木 綾乃(指定)	得点
灘崎 未来(福岡)	40.0	日暮 彩乃(千葉)	41.1
木村 悠里江(宮城)		佐藤 夕文(岡山)	
三井 愛理(直轄団体)		小林 佳奈子(東京)	
美濃部 彩加(東京)		森島 千夏(岐阜)	
草牧 優希(茨城)		藤原 由梨(愛知)	
青木 文菜(神奈川)	40.4	久保田 朋美(北信越地区)	40.9
木戸 希望(東京)		山口 睦貴(東京)	41.4
吉田 真弓(埼玉)		丸山 ゆき(茨城)	
高橋 博子(東北地区)		築地 美樹(福岡)	
熊谷 遥香(千葉)		五十嵐 梨花(大阪)	
菅沼 園子(東京)		籠田 悠香(長野)	
山田 香蓮(三重)	41.1	緒方 早絵(静岡)	40.5
岡崎 ゆかり(兵庫)		桑田 沙也加(北海道)	
芹沢 笑加(静岡)		堀内 麻子(神奈川)	
早川 香菜(近畿地区)		加藤 結衣(埼玉)	
関 大空(長野)	41.4	高木 葉月(新潟)	40.4
黒田 実花(福岡)		鳥居 玲奈(直轄団体)	
安藤 陽子(埼玉)		椎名 舞(本部推薦)	
木村 彩紗望(宮城)		西田 美由紀(滋賀)	
松原 美咲(大阪)		中島 瑞貴(富山)	40.9
佐藤 結美(長野)	41.4	飯島 希(茨城)	41.2
小池 泉(広島)		町田 千堯(栃木)	
比企 麻里奈(新潟)		伊藤 千春(長野)	
Roisin Campbell(茨城)		佐藤 かおり(宮城)	
海保 千佳(千葉)	41.4	浮田 早紀(愛媛)	40.7
小西 康子(九州地区)		小野澤 美鶴穂(埼玉)	
早川 梨緒(関東地区)		中村 朱里(北海道地区)	
大矢 真末(直轄団体)		上田 美央(香川)	
飯島 悠(茨城)		小林 ノリコ(神奈川)	
木下 崇美(東京)	40.1	藤原 史歩(福岡)	41.9
村上 夏帆(埼玉)		上杉 コミ(埼玉)	
佐藤 文香(千葉)		青木 麗子(直轄団体)	
高山 智恵(東京)		稲 樹里(東海地区)	
山田 聖美(福岡)		高橋 加奈子(静岡)	
伊熊 悠子(静岡)	41.9	大野 優佳(福島)	42.1
福島 葵(京都)		小出 亜弥芽(千葉)	
中町 美希(指定)		今井 絢香(群馬)	
		氷川 菜緒(指定)	

順	氏 名	形 名	得 点
1	中町 美希(指定)	五十四歩小	42.1
2	氷川 菜緒(指定)	五十四歩小	41.9(42.4)
3	高木 綾乃(指定)	五十四歩大	41.9(41.8)
4	上杉 コミ(埼玉)	雲 手	41.7
5	Roisin Campbell(茨城)	壮 鎮	41.2
6	松原 美咲(大阪)	五十四歩小	41.0
7	久保田 朋美(北信越地区)	五十四歩小	40.9
8	関 大空(長野)	壮 鎮	40.4

女子団体形

青山学院大学(直轄団体)	得点	埼玉県本部(埼玉)	得点
浜松開誠館(静岡)	41.6	宮城県本部(宮城)	41.1
筑波大学医学部(茨城)	40.1	茨城県本部(茨城)	40.1
広島県本部(広島)	40.4	茨城県本部(茨城)	39.9
自治医科大学(栃木)	40.8	亜細亜大学(直轄団体)	39.0
松本第一高校(長野)	39.7	府中支部(東京)	38.5
大阪府本部(大阪)	40.9	大東支部(大阪)	40.4
所沢支部(埼玉)	40.4	千曲支部(長野)	40.4
交野青山支部(大阪)	39.8	水戸女子高校(茨城)	40.3
松商学園高校(長野)	41.1	静岡県本部(静岡)	40.3
神奈川県本部(神奈川)	40.3	新潟県本部(新潟)	40.0
習志野支部(千葉)	棄権	小金井支部(東京)	39.1
錦城高校(直轄団体)	39.6	石川県本部(石川)	40.6
		駒澤大学(直轄団体)	41.6

順	団 体 名	形 名	得点
1	駒澤大学(直轄団体)	五十四歩小	42.1
2	青山学院大学(直轄団体)	壮 鎮	41.7
3	大東支部(大阪)	五十四歩小	41.3
4	松商学園高校(長野)	五十四歩小	41.1
5	交野青山支部(大阪)	壮 鎮	40.9
6	埼玉県本部(埼玉)	五十四歩小	40.7
7	松本第一高校(長野)	燕 飛	40.5
8	石川県本部(石川)	燕 飛	40.2

一般団体形

各ブロック上位2チーム順位決定戦へ	得点	順位決定戦へ	得点	各ブロック上位2チーム順位決定戦へ
渋川空友館 B(群馬)	39.7	棄権	39.5	所沢支部(埼玉)
瀧悠会 B(直轄団体)	39.0	39.8	常東支部(茨城)	
目黒黒中央支部(静岡)	40.5	39.6	拳上支部(東京)	
神戸支部(兵庫)	38.6	40.9	能代支部(秋田)	
宇都宮支部(栃木)	40.2	40.0	新小岩支部(東京)	
桜志会(直轄団体)	39.7	41.1	渋川空友館 A(群馬)	
岩槻支部(埼玉)	40.4	39.6	宗像中央支部(福岡)	
西宮支部 A(兵庫)	39.6	39.4	西宮支部 B(兵庫)	
下北沢支部 B(東京)	38.9	41.5	哲士会(長野)	
小石川支部(東京)	40.5	39.4	瀧悠会 A(直轄団体)	
鴨空会(直轄団体)	41.3	39.1	三菱空手道部 B(直轄団体)	
下北沢支部 A(東京)	39.7	失格	池袋支部(東京)	
スポーツアカデミー(富山)	41.0	41.6	北方支部(岐阜)	

順位	団体名	形名	得点
1	北方支部(岐阜)	五十四歩小	41.5
2	哲士会(長野)	雲手	41.4
3	鴨空会(直轄団体)	雲手	41.2
4	渋川空友館 A(群馬)	壮鎮	40.9
5	スポーツアカデミー(富山)	五十四歩小	40.5
6	能代支部(秋田)	観空小	40.4
6	浜松中央支部(静岡)	五十四歩小	40.4
8	宇都宮支部(栃木)	五十四歩小	40.2

高校生団体形

				得点
松商学園高校	(長野)			36.0
尾鷲支部	(三重)			34.3
国分寺支部	(東京)			33.9
駿河支部	(静岡)			36.3
福島県本部	(福島)			35.7
目黒学院高校	(直轄団体)			36.1
江差支部	(北海道)			35.9
長野若槻支部	(長野)			35.8
栄北高校	(埼玉)			36.8(36.8)
松本第一高校	(長野)			36.8(36.6)
浜松開誠館	(静岡)			36.8(37.1)
錦城高校	(直轄団体)			36.3
茨城県本部	(茨城)			37.5

順位	団体名	形名
1	茨城県本部(茨城)	燕飛
2	浜松開誠館高校(静岡)	十手
3	栄北高校(埼玉)	慈恩
4	松本第一高校(長野)	燕飛
5	錦城高校(直轄団体)	慈恩
6	駿河支部(静岡)	慈恩
7	目黒学院高校(直轄団体)	慈恩
8	松商学園高校(長野)	燕飛

大学生団体形

	得点		得点
駒 澤 大 学(直轄団体)	42.4	防 衛 大 学 校(直轄団体)	40.7
愛 知 学 院 大 学(愛 知)	39.6	千 葉 工 業 大 学(直轄団体)	40.4
岐 阜 薬 科 大 学(岐 阜)	38.6	高 崎 経 済 大 学(群 馬)	39.0
日本大学農獣医学部(直轄団体)	棄権	東北学院大学工学部(宮 城)	40.5
筑波大学医学空手道部(茨 城)	39.8	福 井 工 業 大 学(福 井)	39.3
青 山 学 院 大 学(直轄団体)	41.8	国 際 医 療 福 祉 大 学(栃 木)	38.6
		亜 細 亜 大 学(直轄団体)	40.6

順位	団体名	形名
1	駒澤大学(直轄団体)	雲手
2	青山学院大学(直轄団体)	雲手
3	防衛大学校(直轄団体)	慈恩
4	亜細亜大学(直轄団体)	壮鎮
5	東北学院大学工学部(宮城)	燕飛
6	千葉工業大学(直轄団体)	十手
7	筑波大学医学空手道部(茨城)	慈恩
8	愛知学院大学(愛知)	慈恩

●内閣総理大臣杯
飯村吏毅哉(一般男子個人戦組手優勝)
廣瀬 まり(一般女子個人戦組手優勝)

●文部科学大臣杯
静岡県本部(都道府県対抗戦組手優勝)
駒澤大学(大学団体戦組手優勝)
埼玉栄高校(高校生団体戦組手優勝)
宮垣 力也(高校生男子個人戦組手優勝)
齊藤 綾夏(高校生女子個人戦組手優勝)

精励賞

◆田中祥一(OB会) ◆小野田光廣(愛知県)

大会・イベント情報

8月	2日(土曜日)～3日(日曜日)	第57回小学生・中学生全国空手道選手権大会兼世界大会予選会	宮城県グランディ21
	11日(月曜日)～17日(日曜日)	夏期休暇	
	31日(日曜日)	定期昇級・昇段審査会	総本部道場
9月	13日(土曜日)	師範会	総本部道場
10月	3日(金曜日)	研修生入所試験	総本部道場
	11日(土曜日)～14日(火曜日)	秋季国内外全国合同合宿	総本部道場
	17日(金曜日)	船越義珍杯 第13回少年世界空手道選手権大会	日本武道館
	18日(土曜日)～19日(日曜日)	船越義珍杯 第13回世界空手道選手権大会	日本武道館
11月	2日(日曜日)	第14回熟練者全国空手道選手権大会	未定
	23日(日曜日)	関東学生会定期リーグ戦	未定
	30日(日曜日)	定期昇段審査会	総本部道場

大会特報

平成26年度春季 関東学生学生会定期リーグ戦

日時●2014年6月8日(日) 会場●東京・亜細亜大学体育館 主催●総本部 協力●大学OB連合会

駒澤大、男女ともに1部リーグを制す!! 河野力也&井田渚、個人戦で初優勝!!

去る6月8日、東京・亜細亜大学体育館において、「平成26年度春季 関東学生学生会定期リーグ戦」が開催された。この大会は、男子1〜3部リーグ、女子1、2部リーグの団体組手と個人組手で争われる。

河野力也、1年生対決を制す!

男子個人戦の決勝は、河野力也(拓殖大1年)と中村礼生(駒澤大1年)が対戦。



↑男子個人戦の決勝は、河野力也(拓殖大1年/右)は延長再試合の末、中村礼生(駒澤大1年)に勝利した。「先輩方にアドバイスをいただき、退がることなく気持ちで試合できた。団体戦では負けていたので、勝ててよかった」と河野。

先制したのは、「今日は返し技があった」という右前構えの河野。中村が飛び込んできたところを引き込むようにして左上段突きを極め、技有りを先取る。

一方の河野も強烈な右中段回し蹴りを極め、技有りを取り返すと、その後は両者ともに有効打を放てず、引き分けとなる。

だが、延長再試合に投入すると、開始早々、河野が上段突きで技有りを先制。さらに「突きでいったら相手が横にまわったので、そこに蹴りを出した」という中段回し蹴りを立て続けに炸裂させた。

この蹴りが技有りとなって、勝負あり。河野が1年生対決を制した。

井田渚、うれしい初V!

女子個人戦の決勝は、井田渚(青山学院大2年)と美濃部彩加(拓殖大3年)の対戦となり、試合開始の合図と同時に飛び込んだ井田が上段突きを極め、技有りを先取る。

対する美濃部も、すぐ次の攻防で飛び込み上段突きを極め、技有りを取り返したが、今度は井田が「互いの技がいきあってから、すぐ次のワンツーにつなげることができた」という連突きを極め、二つ目の技有りを奪取。井田がうれしい初優勝をもぎとった。



➡女子個人戦を制した井田渚(青山学院大2年)。

なお男子団体戦1部リーグ戦は、昨年の秋季リーグ戦に続き、駒澤大が連覇。準優勝には関東学院大、3位に拓殖大、4位には千葉工業大が続いた。

大会結果

◆団体戦

▶女子1部 ①駒澤大②拓殖大③青山学院大④筑波大学医学部

▶女子2部 ①防衛大②国際医療福祉大③都留文科大④関東学院大

★女子優秀選手/武川樹吏(駒澤大3年)、美濃部彩加(拓殖大3年)、久保田朋美(青山学院大4年)

▶男子1部 ①駒澤大②関東学院大③拓殖大④千葉工業大

▶男子2部 ①防衛大②青山学院大③亜細亜大④日本大学農獣医学部⑤国際医療福祉大⑥帝京大学宇都宮

▶男子3部 ①東京経済大②高崎経済大③獨協大④足利工業大

★男子優秀選手/太田翔一郎(駒澤大4年)、村上裕樹(関東学院大4年)

◆個人戦

▶女子 ①井田渚(青山学院大2年)②美濃部彩加(拓殖大3年)③武川樹吏(駒澤大3年)、板垣晴香(駒澤大2年)

▶男子 ①河野力也(拓殖大1年)②中村礼生(駒澤大1年)

③蛭田将輝(青山学院大3年)、菊谷裕誠(拓殖大1年)



↑男子1部リーグを制した駒澤大。